

島根県漁業試験船「やそしま」の概要

1 概要

水産試験場鹿島浅海分場は、主に浅海域での試験研究業務を行っている。近年の水産資源の減少が深刻な問題となっているなかで、浅海域は、天然資源の再生産あるいは、増養殖の場として重要な役割を果たしていることが改めて注目されている。水産資源の回復のためには、この浅海域における調査を一層充実かつ効果的に進める事が必要である。

旧「やそしま」(19.91 t)は、鹿島浅海分場の試験船として昭和 57 年に浅海域の調査を目的に建造されたが、船体及び機器の老朽化が進んできたため、今後ますます重要となる浅海域の調査を主体とする試験研究業務に、より適応した新しい「やそしま」を平成 12 年 3 月に建造した。

2 「やそしま」の主な業務

業 務	
増養殖技術開発事業 磯根資源生態調査 種苗放流追跡調査	アワビ、ワカメ、オコゼ等の磯根有用資源の生態調査 上記資源の試験放流、成長・生残・分布等追跡調査
浅海養殖試験 有用藻類養殖試験	食用藻類(ワカメ、ジンバ藻) 養殖や藻場(クロメ、アラメ)造成試験
漁場環境調査 漁場環境保全 温排水影響調査 その他	水質、底質、生息生物のモニタリング調査 原子力発電所温排水の影響調査 漁場状況把握、流出油対応等

3 新旧「やそしま」の主要目の比較

	項 目	新 船	旧 船
船 体	船 質	F R P	F R P
	総トン数	9 . 1 t	1 9 . 9 1 t
	船 長	1 4 . 5 0 m	1 8 . 6 6 m
	船 幅	3 . 5 0 m	3 . 5 8 m
	深 さ	1 . 2 0 m	1 . 4 3 m
機 関	種 類	ディーゼル	ディーゼル
	馬 力	5 8 0 PS	4 0 0 PS
	速 力	1 9 ノット	1 1 ノット

4 新船の特徴

- 船員減(4名→2名)及び調査海域(浅海域)を考慮した船体の小型化
- 船員減に対応し、省力化・安全機能の強化を図る航海機器(多機能カラ・レ・ダ、監視カメラ、水中スピ・カ)の装備
- 海洋調査を高精度化・省力化し、得られたデータを最大限活用させ、充実した成果を得ることが出来る海洋観測機器(ジャイロコンパス、流向流速計、水質モニタ・解析システム等)の装備